

各位

2024年8月5日

日本老人福祉財団×聖隷福祉事業団
『第3回有料老人ホーム実践研究発表会』開催
 ～新しい歩み、新しい学び～

一般財団法人日本老人福祉財団（本部：東京都中央区、理事長：小口明彦）が運営する介護付有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉と社会福祉法人聖隷福祉事業団（法人本部：静岡県浜松市、理事長：青木善治）が運営する介護付有料老人ホームエデンの園は、2法人主催で『第3回有料老人ホーム実践研究発表会』を令和6年7月20日（土）にアクトシティ浜松コングレスセンター4階にて開催いたしました。

『第3回有料老人ホーム実践研究発表会』は、「介護部門」「事務部門」「食事部門」およびホームに併設されている「診療所」の各業務現場において課題として取り組んだ全4グループ20テーマの「研究」について発表し、審査員により「優秀賞」（2演題）が選出されました。この実践研究発表会は、開催当初から多くの入居時自立型有料老人ホームに参加してもらうことを目指しており、今回は初めて東京海上日動ベターライフ株式会社、大和ハウスライフサポート株式会社の2社に参加していただきました。当日の参加者は総勢188名でした。



開会挨拶の様子（聖隷:高齢者公益事業部 平川事業部長）



優秀賞受賞者

【優秀賞】（2演題）

- 打倒！！コロナフレイル～挨拶+ONEの声かけで入居者の社会的フレイルを解消～
油壺エデンの園 居室サービス課 坂江歩さん
- 介護のデジタル化で入居者QOLと職員の働きやすさが向上～見守りライフの導入～
佐倉〈ゆうゆうの里〉ケアサービス課 松本崇志さん

優秀賞受賞演題概要について

- ～打倒！！コロナフレイル～挨拶+ONEの声かけで入居者の社会的フレイルを解消～
油壺エデンの園 居室サービス課 坂江歩さん

概要：職員から入居者に対し、挨拶に加えもう一言話しかけることで、入居者の他者交流や社会参加を促進することを目的とした研究。結果は「社会的フレイル有リスク者」「基本チェックリスト」の改善、「行事の参加状況」の増加であった。対象入居者の社会的フレイル解消の一助となった。



● 介護のデジタル化で入居者QOLと職員の働きやすさが向上～見守りライフの導入～

佐倉〈ゆうゆうの里〉ケアサービス課 松本崇志さん

概要 : ベッド上の動作を検知、体動測定から睡眠状態を判定し、安否確認の見える化、生活リズムを踏まえたケアプランの活用など、多くの場面で職員の負担軽減が期待できる高齢者見守りシステム「見守りライフ」を導入。睡眠状態が一目でわかる機能を用い、夜間の訪室介護を見直すことで入居者の睡眠状態が改善され、職員の負担が軽減することの検証を目的とした研究。夜間、排泄介助が必要な場合は、覚醒している時間に対応し、入居者の睡眠を妨げることがなくなった。安否確認の為だけの訪室介護件数が減少。ケアプランの見直しを行った事例も確認された。



研究発表の講評について

● 午前の部

聖隷クリストファー大学 大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学部 介護福祉学科 介護福祉学科長
教授 野田由佳里氏

介護はアートだと思っています。ご利用者のニーズを実体化するのが私たちの仕事です。今までも努力されて、日々頑張っておられることに敬意を表したい。これからも皆様がいっしょに働けることを祈念しています。ぜひ今回の研究を自分の職場にそのまま持っていきつつ、今やっていることを少しずつ見直してください。それを研究・実践に活かしてください。今後ますます働きがいのある職場を作っていただきたいと思っています。



● 午後の部

和洋女子大学 総合生活研究科 教授 岸田宏司氏

介護のデジタル化や新しい機器の導入など先進的な取り組みが目立った発表でした。これからさらに研究を積んでいただいて、効果があるケアは何かを、ぜひ突き詰めていただきたい。非常に期待をしています。研究の考え方としては、その研究の重要性、緊急性を見て問題を出していく必要があります。緊急性が高くても重要性も高いのは、研究している暇が無く、経営課題として抑えていかなければいけません。緊急性は低いけど重要性は高いものが研究として取り組むには一番適していると考えます。問題の捉え方、仮説の立て方、大変素晴らしいと思いましたが、これは本当に問題として研究に値するかについては、今一度考えていただきたいと思っています。



本件に関するお問い合わせ先

一般財団法人 日本老人福祉財団 本部 経営企画部 企画課 井尻 隆夫

Tel. 03-3662-3611 / Mail. ijiri-tk@yuyunosato.or.jp

<ご参考資料-1> 当日の発表プログラム

<第1グループ>

1	フロント改善に向けて ～できることから一歩ずつ～	浦安エデンの園 運営管理課 和久井詳三
2	打倒！！コロナフレイル ～挨拶＋ONEの声かけで入居者の社会的フレイルを解消～	油壺エデンの園 居室サービス課 坂江歩
3	高齢者福祉の世界へ飛び出せ！ ～新卒受講者による新人研修の考察と提言～	京都〈ゆうゆうの里〉 奥田穂
4	ゆうゆうサロンから始まる社会活動 ～わたしたち、いつでも「みんなの癒し隊」～	湯河原〈ゆうゆうの里〉 生活サービス課 勝海貴子
5	私だって参加したい！ ～新企画「かたつむりツアー」～	大阪〈ゆうゆうの里〉 生活サービス課 和田貴徳

<第2グループ>

6	パーソンセンタードな個別機能訓練を目指す取り組み ～バーセルインデックスとICFモデルによる～	浜名湖エデンの園 居室サービス課 稲葉繁樹
7	望む暮らしを叶えたい!情報収集から本人の思いに繋げる第一歩	宝塚エデンの園 一般居室ケアサービス課 清藤恵里香
8	有料老人ホームの一般居室で自立して生活する入居者への医療介入	明日見らいふ南大沢 看護課 徳原秋花
9	なぜ内出血ができてしまうのか？ ～内出血を防ぐためにできること～	伊豆高原〈ゆうゆうの里〉 ケアサービス課 大串朋哉
10	こういうの上手いの、私！ ～ICF ステージングを活用した生活リハビリで心も身体も元気に～	東京海上日動ベターライフ株式会社 ヒルデモア世田谷岡本 渡邊 晴香

<第3グループ>

11	業務負担の改善 ～少ない人員でより良い食事提供を～	松山エデンの園 食事サービス課 江戸裕太郎
12	パワーアシストスーツでの腰痛予防効果 ～職員の健康を守るために～	横浜エデンの園 ケアサービス課 井上明日美
13	高齢者施設における効果的な情報伝達手段について ～園内テレビ放送の効果検証～	藤沢エデンの園一番館 運営管理課 嶋村友恵
14	ゆうゆうdeやろよ！ ～入居者の「やりたい」を形に 5年間の試み～	浜松〈ゆうゆうの里〉 生活サービス課 影山智英
15	早期離職は防げる！ ～3年定着率を上げる仲間づくり～	日本老人福祉財団 本部 人事部 木曾千枝加

<第4グループ>

16	誰一人取り残さない ～あなたのそばに～	奈良ニッセイエデンの園 生活サービス課 荒井妙子
17	寝ても起きても安楽な姿勢を求めて	松戸ニッセイエデンの園 介護居室サービス課 亀山拓真
18	ヒヤリは「ありがとう」 ～2年目の取り組み～	神戸〈ゆうゆうの里〉 事務管理課 丸川美矢子
19	介護のデジタル化で入居者QOLと職員の働きやすさが向上 ～見守りライフの導入～	佐倉〈ゆうゆうの里〉 ケアサービス課 松本崇志
20	人とテクノロジーの協働による未来 ～笑顔溢れる介護現場を目指して～	大和ハウスライフサポート株式会社 ネオ・サミット湯河原 生活サービス課 青木 充

<ご参考資料-2>

【一般財団法人 日本老人福祉財団 概要】

基本理念：～豊かな福祉社会の実現を目指して～

1. 私達は、老後の“安心”と“幸せ”を提供することにより社会へ貢献します。
2. 私達は、はたらく人達の“人間性”を大切にします。

所在地：東京都中央区日本橋堀留町 1-7-7 MID 日本橋堀留町ビル 5 階

理事長：小口 明彦

設立：昭和 48（1973）年 12 月

事業：介護付有料老人ホーム〈ゆうゆうの里〉を全国 7 箇所で運営
（佐倉、湯河原、伊豆高原、浜松、京都、大阪、神戸）

特徴：創立 50 周年を迎えた老舗の有料老人ホーム運営事業者。自立の時期に入居し最期まで暮らせる住まい（終の棲家）を提供。1 施設あたり平均 300 戸を超える大型施設の CCRC「高齢者コミュニティ」を展開している。

HP：<https://jscwo.jp/>

【社会福祉法人聖隷福祉事業団 概要】

基本理念：キリスト教精神に基づく「隣人愛」

所在地：静岡県浜松市中区元城町 218 番地 26

設立：昭和 5 年（1930 年）5 月

理事長：青木 善治

事業内容：1. 医療事業（病院・診療所・ホスピスなど）
2. 保健事業（健康増進・健康診断・人間ドック・疾病予防・労働環境測定など）
3. 福祉事業（特別養護老人ホーム・障害者支援施設・救護施設・無料または低額診療・保育事業・有料老人ホーム事業など）
4. 介護事業（介護老人保健施設・通所事業・訪問看護ステーション・在宅訪問事業など）

URL：<http://www.seirei.or.jp/hq/>